

図1. ホシガレイ生息地域間の遺伝的な類似度を示す図。遺伝的に似た集団は、互いに近い所に位置づけられるはずである。左はマイクロサテライト、右は mtDNA での解析。一つの地域で年度を変えて採集された集団は、'-2'を付してある。点線の円内は東北地方の集団。矢印で示してあるのは中国黄海集団。マイクロサテライトデータでは東北集団と黄海集団の違いがはっきりしないが、mtDNA データでは極めて明瞭な違いがあることが分かる。

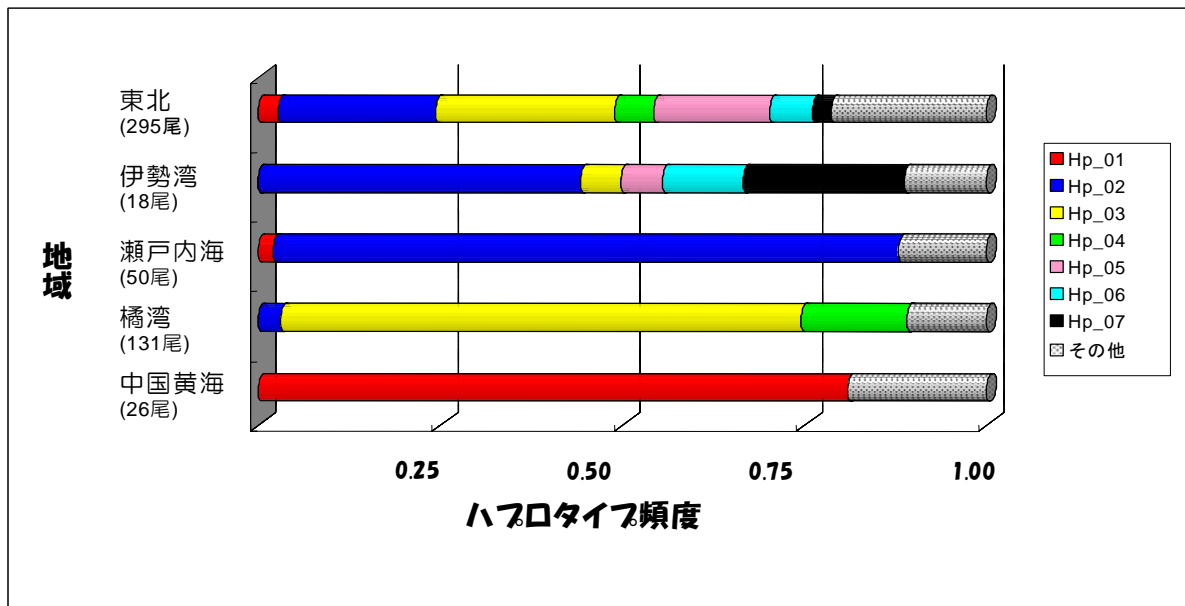


図2. 各ホシガレイ生息地域での mtDNA ハプロタイプ (mtDNA の種類) の割合。横軸は、それぞれの地域での各ハプロタイプの割合。各ハプロタイプを異なる色で示してあり、すべての地域で頻度の低いハプロタイプは“その他”にまとめてある(灰色)。“東北”は三陸、仙台湾、福島のサンプルを含む。黄海で高頻度のハプロタイプ (赤) は、日本産集団ではほとんど検出されなかった。また瀬戸内海と橋湾集団間では、ほとんどハプロタイプを共有していなかった (瀬戸内海は青のハプロタイプが中心で、橋湾は黄色が中心)。